

## ◎ 美術館情報

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多くの美術館等で、臨時休館やイベントの休止、展覧会の中止や開催期間の変更、および入館方法等が変更になっています。

状況が日々変動しているため、各施設の公式ホームページなどで最新の情報をご確認ください。

### 1. 愛知県陶磁美術館【愛知・瀬戸】 ([https://www.pref.aichi.jp/touji/exhibition/2021/t\\_showaretro/index.html](https://www.pref.aichi.jp/touji/exhibition/2021/t_showaretro/index.html))

2022年1月8日(土)～3月21日(月・祝)

企画展： 昭和レトロモダン－洋食器とデザイン画－

明治以降、長らく日本陶器(現・㈱リタケカンパニーリミテド)や名古屋製陶所が先駆けてきた洋食器生産ですが、昭和初期になると中小規模の製陶所も本格的な事業参入を始めました。太平洋戦争後には、愛知の三郷陶器や鳴海製陶、岐阜のヤマカ製陶所(のち大和陶器)をはじめとする各社が独自の技術やデザインを確立し、先駆者に迫る勢いでさまざまな洋食器を世に送り出しました。このような洋食器やその元となるデザイン画からは、時代の気運とその要請に応じたそれぞれの創意工夫が垣間見えます。本展では近年懐かしくも新しいものとしてふたたび脚光を浴びている「昭和レトロモダン」に着目し、“デザインの三郷”とも呼ばれた三郷陶器が戦後から昭和40年代に手がけた洋食器とデザイン画を展示します。あわせて鳴海製陶とヤマカ製陶所の製品を紹介し、戦後の洋食器をめぐる歴史と魅力に迫ります。



### 2. サンリツ服部美術館【長野・諏訪】

(<http://www.sunritz-hattori-museum.or.jp/schedule/main.html>)

2022年1月2日(日)～2月27日(日)

企画展： めでたづくし 福を招くうつわの文様

新しい年の幕開けにふさわしい、明るく華やかな吉祥紋様があらわされた陶磁器をご紹介する展覧会を開催します。本展では繰り返し表現されてきた吉祥文様の意味を読み解くとともに、東洋陶磁の技と美をご覧ください。当館のコレクションを通じて、幸福に満ち溢れたうつわの数々をお楽しみください。



### 3. パナソニック汐留美術館【東京・港】 (<https://panasonic.co.jp/ew/museum/exhibition/22/220115/>)

2022年1月15日(土)～3月21日(月・祝)

企画展： 未来へつなぐ陶芸－伝統工芸のチカラ展



日本工芸会陶芸部会50周年を記念した展覧会であり、同会で活躍した作家の秀作とともに、その活動の歴史を振り返るものです。歴代の人間国宝作品をはじめ、窯業地ならではの素材と伝統を受け継いだ作家らによる作品、茶の湯のうつわなど、伝統工芸の技と美を紹介します。さらに、未来を担う若手作家らの作品も見どころのひとつで、これまで当館では、「工芸・デザイン」を

テーマにした展覧会を数多く開催してきました。現代陶芸の今に焦点を当てた本展では、陶芸部会所属作家を中心に、さらにそれ以外の陶芸家の作品を含め、137作家139点(予定)を展覧します。